三愛学舎広報誌　第6号　（2021 年 11 月発行）

〒028-5133
岩手県二戸郡一戸町中山字軽井沢 49-33
電話:0195-35-2231　　FAX:0195-35-2781　〈三愛学舎ホームページ http://www.sanaigakusha.net〉

三愛学舎 新校舎建築工事着工

三愛学舎新校舎建築工事が、2021 年８月 31 日より着工しました。生徒の皆さんは、日々変わっていく様子を間近に眺め、新校舎完成を待ちのぞみながら学習活動を行っています。

『自然と共生を図る校舎』『コミュニケーションを促す校舎』『安心安全な校舎』というコンセプトのもと、本校が一戸町奥中山の地において、40 数年間育んできた理念を新校舎の建築に反映させました。高台に平屋建てとなるため、採光性、通風に優れます。また、昇降口を入ってすぐの広い廊下は、三愛ギャラリーとなり自然の光と風、そしてコミュニケーションが通い合う空間となっています。本科教室には現校舎同様、調理室が整備され、毎日の調理実習で昼食作りを行います。明るく、広い空間の講堂で学校礼拝を行うこと、薪ストーブの前に生徒の皆さんが集うこと、これからの学校生活を想像し期待が膨らみます。

この間、多くの皆さまから多大なるご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。今号は、工事概要、新校舎に向けての思いを紹介します。

三愛学舎新校舎イメージ

『しんこうしゃにはいって』
「あたらしい学校がたつまえは、みどうちくのふるい学校をかりて二年間すごしました。みどうのこうしゃで、せまいこうどうで、たいいくや、おんがくをして二年間すごしました。ことしの春に、あたらしく学校と小さき群の里ができました。あたらしいきょうしつでべんきょうしたり、あたらしいちょうりしつでちょうりができることもかわりました。しょくいんもかわってきました。みんなぜんぶあたらしくなりました。みんなぜんぶあたらしくなりました。そのうちあたらしいたいいくかんができればいいなあと思います。あたらしいグランドが大きいので、マラソンではしるのがとてもたいへんです。がんばってはしったりして、おおいにからだをうごかし、あしをきたえていきたいとおもいます。」

日頃より、本校の教育活動に温かなご支援を頂いておりますことに深く感謝を申し上げます。

引き続き新型コロナウイルス感染予防に細心の注意を払いながらの学校運営ではありますが、何かと制限の多い日々が続く中にありましても、校舎には、生徒一人一人が明確な目標を持って学習活動に取り組む意欲に満ちた姿が見られ、大いに励まされております。常に感謝の心を忘れずに、共に励まし合うことのできる人となれるよう生徒、教職員一体となった学校運営を進めて参ります。今後共引き続き変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2021 年 7 月 27 日、「学校法人カナン学園 三愛学舎校舎老朽改築工事」起工式が、４月からカナン学園宗教顧問に就任された角谷晋次牧師の司式により執り行われました。前日から天候が心配されましたが、小雨、時折明るい陽光も射す中、２名の代表生徒もしっかりと鍬入れの役割を務め、約一年間に及ぶ工事の安全と三愛学舎の新たな希望へのお導きをお祈りしました。時期的な配慮から工事関係者と学校関係者での開催となりましたことを申し添えます。

９年前、“奥中山の自然の中で温かさを感じる校舎”、“光が差し込む明るい教室で讃美歌を”、“毎日の食事と感謝のお祈り”、“個性豊かな絵画を飾りたい”…、多くの思いを語り合い、校舎は新しくなっても、“三愛学舎らしさは失わないようにしたい”という願いを共にすることができました。そのことは同時に、これからも三愛学舎を引き継ぐのだという決意だったようにも思います。

現在も 40 年を超える三愛学舎の歴史を共有している生徒、そしてこれから新しい校舎で学ぶ生徒にも、これからもたくさんの希望がつながっていってほしいと心から願っています。

文頭に掲げました文章は、現在の校舎ができた時、当時の生徒が書いた作文です。

1980 年４月、三愛学舎養護(高等)学校は、旧岩手町立水堀小学校御堂分校の仮校舎から新築された現在の校舎に移ります。真新しい教室と調理室、明るい光が入り込む講堂、友と語り合う半円形の談話コーナー。新しい“私たちの学校”で学ぶ嬉しさ、ここでしっかり勉強を頑張るぞという決意が素直に表現された作文です。それはまさに生徒、教職員の希望そのものでした。

（2021 年 11 月　校長　伊藤和彦）

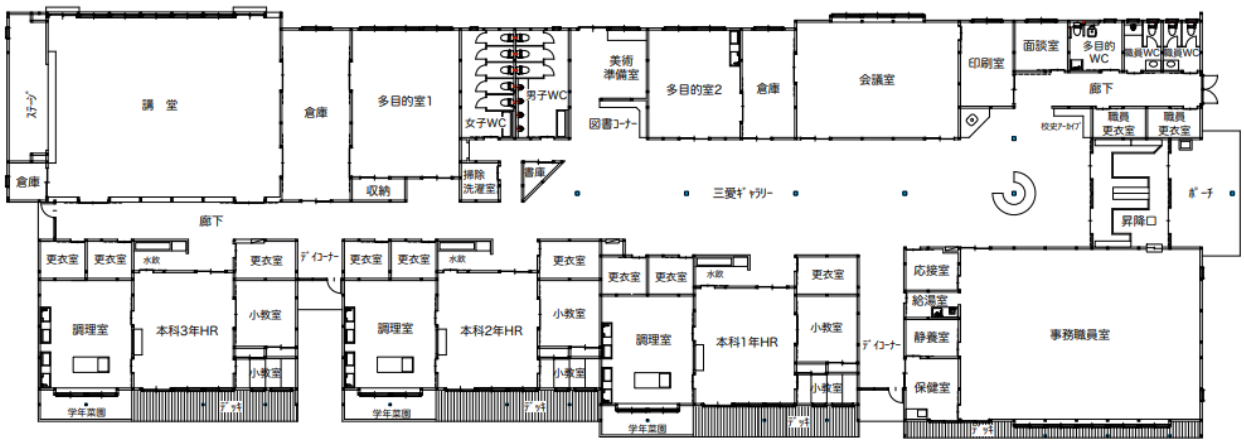
工事概要及び工事進捗状況

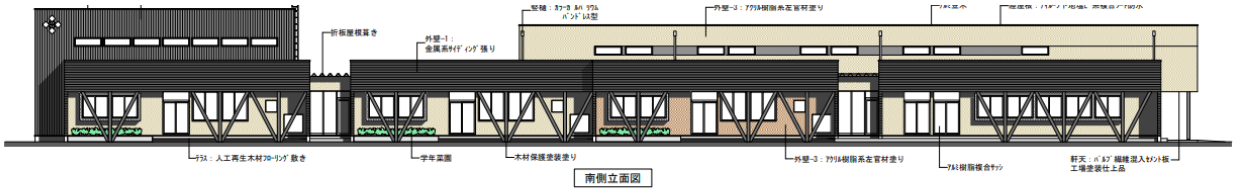
〔工事概要〕

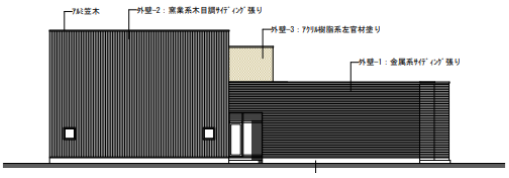
（１）敷地面積　25,395.25 ㎡
（２）延床面積　1,476.50 ㎡
（３）構造　木造平屋建て
（４）平面、立面図　下図
（５）主な教室
本科教室(調理室)、講堂
多目的室、職員室、会議室

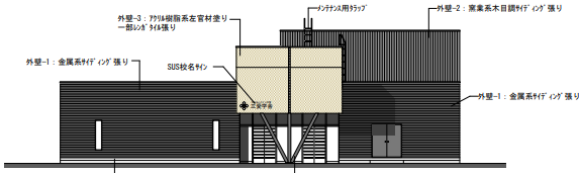
〔工事進捗状況と今後の予定〕

2021 年	7 月	作業棟解体	2022 年	3 月	外装・屋根
	8 月	樹木伐採		5 月	内装・仕上
	9 月	地盤強化工事		8 月	竣工予定
	10 月	基礎工事		9 月	現校舎解体
	12 月	構造用集成材建方			









工事の様子

新校舎建築事業について

三愛学舎 宗教顧問　角谷晋次

2021 年 7 月 27 日（火）に、三愛学舎新校舎予定地で学校関係者と施工関係者でキリスト教による新校舎建築起工式が執行されました。宗教顧問の立場で角谷が司式させて頂きました。新校舎をシンボルとした「神を愛し、人を愛し、土を愛する」の三愛精神の書かれた柱を囲んで礼拝し、祈りを捧げました。この事業は主によって始められ、主によって続行され、主によって完成されなければなりません。列席者一同は心を合わせて祈りました。

「神は御自分にかたどって人を創造され」（創世記１：27）、かつ、神の「命の息」を吹き入れられました。人格以前に、神によって一人ひとりの存在が神によって保障され、受け入れられております。この新しい校舎で神を尊び、人を愛し、土を耕し愛する三愛精神を根底とした「魂の教育」が更に充実し、発展して行くことを確信し、祈っております。

カナンの園の奥中山学園内で 1974 年に「高等部」として胎内で育ち、1978 年に設置認可が下りて岩手町御堂に「仮校舎」でめでたく出産し、三愛学舎が出発しました。1980 年４月に現在の一戸町中山に校舎が落成して 40 数年が経過しました。今、未来の学び舎としての新校舎の建築が進んでおります。新校舎が完成する迄、必要なものが満たされ、工事建築に関わられる全ての方々の安全が守られますよう、お祈り致しております。

鍬入れを行う齊藤理事長と角谷宗教顧問

新校舎の未来に向かって

本科生徒会長　柴内律知

私は、新校舎の起工式に本科生徒会代表として参加しました。私は、鍬入れをしました。鍬入れは初めてやりましたが貴重な体験だなと思いました。

私が、この校舎で頑張ったことは、生徒会執行部や音楽の活動です。私は、生徒会活動を 2 年間やりました。特に、朝礼や行事の司会で明るくハキハキと聞こえる声で喋ることを頑張りました。９月にカナン祭が行われ、今年もコロナ対策の徹底から人数の制限や太鼓と合奏の２つのグループに分かれての練習となりました。皆と一緒に演奏出来たことや聴いてくれる人がいたからこそ全力で思いを届けることが出来ました。

私は、学校生活で仲間や言葉遣いの大切さと自分と仲間の事を知っていくことを学びました。これからもこの校舎で楽しい思い出を創っていき、新校舎でも皆が前に進んでいける学校になってほしいと思います。

起工式と新校舎

専攻科生徒会イベント委員会委員長　佐藤遥生

７月 27 日火曜日に、私は起工式に専攻科代表として参加しました。式が進み、鍬入れの番になりました。鍬入れでは、私の前に鍬入れをした人が片側に土をかぶせていたので、「俺も片側に土をかぶせるのか？　土がかかっていない方にはかけていけない決まりがあるのか？」と思いながらも先にやった人と同じ部分に鍬入れをしました。これが呪いにならないか心配になりました。

その後、なんだかんだで式は終わりました。これから新校舎はできあがっていきます。私は旧校舎で過ごしたので、校舎が変わってしまう前に学校生活を終われて良かったと思いますが、これから作られる新校舎も 20～30 年後ぐらいには、その時の生徒に愛されるんじゃないかと思っています。あと、これを書いているうちに、「玄関が自動ドアになりそう」「綺麗なトイレが作られそう」「冬の新校舎は暖かくて過ごしやすくなりそう」等、新校舎を想像してみました。

柴内律知さんと佐藤遥生さん

変わるもの…　変わらないもの…

学校は新しくなりますが、三愛学舎の使命は変わりません。本科は実生活をとおして学ぶことを基本とし、専攻科は成人生活への移行に向けた取組を継承していきます。昨年度、教職員の校内研修において、これまでの本科、専攻科の学科の重点について話し合い、共有を図りました。建学の精神は大切にしながら、現在の生徒のニーズ、教育内容に合ったものに文言を改めました。また、本科、専攻科の学科の重点のつながりについても確認することができました。変わるもの、変わらないもの両方を大切にし、これからの学校を創っていきたいです。

【本科の学科の重点】

1　実生活に必要な基本的な知識、技術の習得
2　心身の解放と表現活動の充実
3　働くことや協働することの喜びと意欲を高める
4　人とのつながりや活動を通して自分を知る

【専攻科の学科の重点】

1　主体的に生きる力の習得
2　職場実習等を通して社会を知り、自分を知る
3　自己理解と他者受容の熟成
4　成人生活への移行、望む暮らしの実現

生徒の声

2019 年度、生徒の皆さんを対象に新校舎についてアンケートを実施しました。全体的に教室等の活動スペースの広さを求める意見が多くありました。みんなが落ち着ける場所として、現在玄関前にある談話コーナー、薪ストーブを挙げる意見が多くありました。一方、相談室、個室、静養室等一人で落ち着ける部屋がほしいという意見もありました。活動内容については、調理、音楽等を本校の特色である活動を残していきたいという意見が多く寄せられました。

今年度、専攻科のゼミの時間に、改めて生徒の皆さんの声を聴きましたので紹介します。これからも生徒の皆さんの声を聴きながら、生徒と教職員が共に生き方を考え学び合っていきたいです。

三愛の本科、専攻科のいいところは？

本科は、自分で料理できるところ。あと音楽も楽しかったですね。楽器。専攻科は、ほぼ作業ですね。楽になったところは、料理しなくてよいところ。

本科は、音楽、カナン祭での発表があります。体育、登山、スキー、Try スポーツ。Try スポーツは２年生の時に 1500mが急に速くなって、楽しみになりました。芸術で好きなものが作れます。専攻科は、趣味教養、ゼミ、バーベキューパーティー。本科の発表が見られます。

本科のいいところは、体育や音楽や調理。「あの人、こういうのが苦手なんだ」とか、そういうのも勉強でした。専攻科は、表現創作。自分の趣味を見つけてそれを磨いて、研究ですね。作業時間がにぎやかなところです。あと職場実習ですね。自分で仕事場に歩いて行って、そして帰ってくるというのが大変でした。

本科は自分の好きな音楽、体育があるから好きです。専攻科は社会に出る勉強をするから、社会に出ても大丈夫になります。

本科は、自分の好きなもの、個性を生かせるところ。専攻科は、力を高めていったり、仕事に役立つところ。

本科では３年間で授業の種類が多くていろんなことを学べます。作業で学ぶことができます。専攻科では将来についてじっくり考えて、２年間考えることができます。本科は、自分の好きなもの、個性を生かせるところです。専攻科は、力を高めていったり、仕事に役立つところです。

本科のいいところは、太鼓が迫力あっていいと思いました。本科の執行部は生徒会新聞と司会を覚えました。専攻科は、ゼミは自分の意見が言えるところがいいと思いました。

本科では中学の時にやれなかったことがどんどんできて良かったです。調理や音楽などで、先輩や友達と協力して仲を深めました。専攻科ではちからを伸ばして、実際に職場実習に行けました。

本科は、音楽で合唱、太鼓グループでみんなで楽しかったです。調理をいっぱいしました。体育でダンスがいっぱい踊れました。専攻科は、職場実習が大変でした。

本科は調理です。３年間いろんなメニューを作りましたが、毎日作るのは結構大変なんですよね。当たり前じゃないってことが分かりました。専攻科は、２年間は普通の学校だと長いんですが、働くところで実習して、働くところを決めていけるのがありがたいです。

三愛学舎がもっと良くなるにはどうすればいいと思いますか？

お話しするところを増やす、趣味ができるところを作る、同好会を作る、自販機を作る、購買を作ることです。

本科と専攻科の対面式とか交流とか、本科と専攻科で自己紹介をし合ってみたいです。あとプールが欲しいです。学校に全く来ていない人が来られるように立ち直らせる取り組みがあったらいいです。宙返りの練習ができるマットが欲しいです。

放課後の自由度をあげてほしいです。

休憩できるところが欲しいです。自然がいっぱいあるので、もっと楽しみが欲しいです。

体育館の天井を高くしてほしいです。更衣室をもっと広く。体育館の床を滑らないように。バスケットボールをあと２つほど欲しいです。電波を強化してほしいです。グラウンドを整備してほしいです。

クラブ活動（スポーツクラブ、音楽クラブ、茶道部等）。火木はクラブ活動、月水木は作業。面白い話を聞きたい（お笑いとか、ピアニスト）。生徒一人一人にパソコンを配って授業。

図書館みたいな、広くて本がたくさん置いてあるところ（小説）。

今は分からないけど、今が楽しいです。

イベントや行事を増やしてほしいです。専攻科と本科でイベントをやってみたいです。体育祭をやった方がみんなで協力できて仲良くなれます。休み時間はスマホを使えるようにしてほしいです。

三愛学舎 新校舎建築事業へのご協力のお願い

学校法人カナン学園三愛学舎は、1978 年開校以来、私立学校の特権として自由な取り組みを展開し、広く評価を頂いてきました。近年その教育の大切な基盤である校舎の老朽化への対処に迫られていましたが、このたび校舎建て替え計画の実施を決定しました。計画実現のために、国・県・関係機関のご支援と、三愛学舎の応援団の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

理事長　齊藤芳弘

寄付金募集要項

詳細につきましては三愛学舎ホームページ http://www.sanaigakusha.net を参照ください。

1.事業名	校舎老朽化改築工事
2.総事業費	6 億円
3.寄付金募集目的	新校舎建築資金
4.目標金額	1 千万円
5.募集金額	個人　一口　5,000 円　以上 法人　一口 10,000 円　以上
6.受付期間	2020 年（令和 2 年）10 月 1 日～2022 年（令和 4 年）9 月 30 日
7.申込及び払込方法	■ 個人・団体の皆様 ①ゆうちょ銀行振替口座　02280-9-128702 口座名義　学校法人カナン学園 寄付目的　三愛学舎新校舎建築事業 払込用紙に所定事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行から お振込みください。手数料はかかりません。 ②クレジットカード決済 以下のサイトからお申込みいただけます。 Yellz（クラウドファンディング型の寄付金受付方法） https://yellz.jp/detai/030097/school/ ■ 法人の皆様 法人税法に基づき、当該事業年度の損金に全額を参入することができる「受配者指定寄付金」としてご寄付いただく場合には、上記の申込書の他に日本私立学校振興・共済事業団に対する寄付金申込書の作成が必要です。（提出先は本学園となります。）
8.ご協力くださった方に感謝をこめて	ご協力いただいた方の芳名は、三愛学舎ホームページに掲載させていただきます。なお、芳名の掲載を辞退される場合は、寄付金申込の際にその旨をお知らせください。
9.ご寄付に関するお問い合わせ	不明な点がございましたら、担当者にお問い合わせください。 担当：三愛学舎　事務長　箱崎浩二 E-mail　jimu@sanaigakusha.net

編集後記

例年 1 月に発行する広報誌ですが、新校舎建築工事が始まり、皆様に早く様子をお伝えしたいという思いから、11 月に発行させていただきました。この間、皆様からの多大なるご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。今後の建築工事の進捗状況につきましても、三愛学舎ホームページ等で紹介させていただきます。今後もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（副校長　岩崎）